

環境学委員会環境思想・環境教育分科会
環境教育における体験の再検討小委員会（第25期・第5回）

議 事 要 旨

日 時 令和5年3月24日（金）10:00～12:00

会 場 遠隔会議

参加者（敬称略：50音順）：井上真理子、太田 和彦、工藤由貴子、河野 哲也、
土方 圭、関 礼子、馬奈木俊介
欠席 奇二 正彦

*委員8名中7名の出席により会議は成立した

オブザーバー参加：青山鉄兵（国立青少年振興機構・文教大学）

議 題

1. シンポジウムでの話題提供について

「学術と連携した環境教育の質的確保に向けて」（2023年5月13日、共催：立教大学）開催について、関委員（環境思想・環境教育分科会委員長）から報告があった。続けて、各話題提供者から報告内容の紹介があり、論点の整理を行った。

（第一部）「まるごとの環境を学ぶ-「知の全体性」をはぐくむために」

- ・河野委員（センス・オブ・ワンダー：自然との出会いと知のはじまり）

（第二部）「環境を感受する身体-「体験」の位置づけと課題」

- ・青山鉄兵氏（子どもの自然体験の意義と課題：全国調査の結果から）
- ・井上委員（実技教科にみる体験を通じた学び-専門高校の農業教育・森林教育を中心に）
- ・土方委員（野外教育実践（キャンプ）では何が学ばれるのか-体験をめぐる理論と実践の往還と今日的課題）

2. 意思の表出について

まとめの方向性（意思の表出、『学術の動向』の特集など）について検討を行った。

3. その他 なし

配布資料 なし